



～東北にもう一度、白砂青松を取り戻したい～

「海岸林再生プロジェクト 10 力年計画」開始

被災地住民の雇用を伴う海岸林種苗生産等に協力します

公益財団法人オイスカ(本部:東京都杉並区、会長:中野良子、国際協力 NGO、今年創立 50 年)は、東日本大震災直後より長期復興支援策を模索してきました。この度、被災地住民の雇用を伴う種苗生産拡大・植栽・育林を通じて、長期的に協力する「海岸林再生プロジェクト 10 力年計画」を決定し、今後、自治体等で策定される復興計画等と調整を図りながら実施することになりました。

仙台平野一帯では、伊達政宗の時代(約 400 年前)より海岸林が造成され、その甲斐あって荒廢地が農地になり、飛砂や塩害、強風や高潮から人々は守られてきました。また、オイスカと協議を続けてきた住民がまさに小学生であった昭和 30 年前後には、大人のみならず子どもたちによる植林も積極的に行われ、全日本学校植林コンクールで第 1 位になった歴史もあります。しかし、東日本大震災による津波により、被災地域全域で 3,659.2ha(林野庁調べ)の海岸林が浸水被害を受けました。

特に宮城県はその大半の 1,753.3ha を占めており、再生には 600 万本(オイスカによる試算)以上のクロマツや広葉樹等の苗木が必要と考えられ、このプロジェクトでは、「種苗生産拡大への協力」を行います。海岸林周辺に居住していた被災した地元農家の中から、「再度、自分たちの手で海岸林を復活させたい」という声がオイスカに届いた事を受け、具体的には希望する農家の林業種苗生産事業者への登録、宮城県農林種苗農業協同組合への加入、苗畑の確保・整備、資機材等の基本的環境整備、種子の買い取り等に協力します。また、播種から植栽まで 3 年程度を要する育苗に対して収入を得ながら取り組めるよう支援します。

育苗に続いて実施することになる造林や、下草刈り、海岸清掃等、一般市民の手が必要となる時期が必ず来る事を想定しております。課題は山積ですが、行政・林業事業者・専門家とともに協議を繰り返す、国内・海外の一般市民・団体・企業等とともに国民運動的な長期復興支援に取り組みます。

今後、海岸林の存在意義について積極的に広報・啓発活動を推進するとともに、活動への「寄附金」を呼び掛けます。団体概要およびプロジェクトの詳細については、以下の URL をご参照ください。

【寄附金受付口座】

三菱東京 UFJ 銀行 永福町支店 普通預金 0054080 口座名: 公益財団法人オイスカ
郵便振替 00100-6-482316 海岸林再生募金

【お問い合わせ】

公益財団法人 オイスカ 啓発普及部 吉田俊通・林久美子 〒168-0063 杉並区和泉 2-17-5
Tel03-3322-5161 Fax 03-3324-7111 E-mail oisca@oisca.org HP <http://www.oisca.org/kaiganrin>